

## 題「聖霊降臨による教会の誕生」

姫路あけぼの教会 廣田守男

「その後、わたしは、わたしの霊をすべての人に注ぐ。あなたがたの息子や娘は預言し、年寄りも夢を見、若い男は幻を見る。」(28)。

「激しい風が吹いてくるような響きが起こり、炎のような分かれた舌がひとりひとりの上にとどまった。すると、みな聖霊に満たされ、御霊が話させてくださるとおりに、他国のことばで話した。」(2, 3)

(ヨエル書 2 章 23～3 章 2 節、使徒の働き 2 章 1～11 節)

◎本日は聖霊降臨日であり、この地上に初めてキリスト教会が誕生した記念の日なのです。この日は、主イエス様の復活から 50 日目(ペンテコステ)、昇天の日から丁度 10 日目に当たります。この日に、祈り待ち望んでいた 120 名の人々の上に助け主なる聖霊が降臨し、神様の約束が成就したのです。

◎聖霊に満たされ、新しくされた弟子たちが大胆に御言を語り、その説教を聞いた人々の心が刺されて悔い改め、3 千人の人々が洗礼を受け、キリスト教会が地上に誕生したのです。そこで信徒たちは交わりをし、パンを裂き、御言を聞き、祈りを共にしたのです。私たちもその聖霊のみ業に与り、今日まで導かれているのです。「わたしは、わたしの霊をすべての人に注ぐ。あなたがたの息子や娘は預言し、老人は夢を見、若い男は幻を見る。その日、わたしは、しもべにも、はしためにも、わたしの霊を注ぐ」(ヨエル書 2 章 28, 29 節)。私たちも聖霊に満たされ、証人として歩みましょう！

◎預言者ヨエルは「主の日」について預言しています。その日は審判と救い(回復)の日なのです。神様を知り礼拝している人々にとって、その日は祝福と回復の日となるのですが、神様に敵対する者にとっては破壊と荒廃の日となるのです。イスラエルの民が悔い改めた暁、その日にすべての人に神の霊を注ぐとの預言が語られ、成就したのです(2 : 28-29)。

◎①聖霊降臨の出来事は「みな一つ所に集まっていた」時に起こったのです(1, 1:15, 2:44, 49)。私たちも主イエス様の約束を信じて祈る群れでありたい(マタイ 18:19～20)。

②「御霊が話させてくださるとおりに…話し出した」のです。即ち、相手の理解出来る言葉で証しする者と変えられたのです(ルカ 12:11, 12)。

③使徒の教えを大切に守り、愛の交わりが深められ、聖餐に与り、心を合わせて共に祈ったのです。その結果、日々仲間に加わる者が加えられたのです。

◎最後に、ペテロが大胆に語った福音の内容は、①悔い改め、②洗礼、③罪の赦

し、④聖霊の約束です。私達も自分の罪深さを知り、日々悔い改めと信仰をもって主イエス様の十字架を仰ぎ、聖霊を求め、日々、御霊に満たされ、教会生活を大切に、聖徒の交わりに与り、証の生活をさせて頂きたい。